

# 令和5年度学校自己評価システムシート ( 県立三郷工業技術高等学校 )

目指す学校像	「ものづくりの精神」に基づき、豊かな人間性を育成するとともに、学力向上をとおして、生徒の自信を高め、地域に貢献できる技術者を育成する
--------	--

重点目標	1 基礎学力や専門知識・技術の習得を重視し、学習指導を充実させる 2 生徒指導及び進路指導の充実を図り、社会人基礎力を身につけさせる 3 開かれた学校づくりに取り組み、工業高校の魅力を積極的に発信する
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価								
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )									
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	実施日	令和	年	月	日	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	現状：教科指導において、「わかる授業の実践」を進めた結果、多くの生徒が授業内容を理解している。  課題：基礎学力が身に付いていない生徒が多く入学している。引き続き家庭での学習習慣をつけさせる指導と、基礎学力の向上、専門知識と技術の確実な習得を行い、生徒の自信を高める必要がある	①授業改善と指導力向上により、生徒の学習意欲を向上させる。  ②資格取得や、各種コンテスト、大会への積極参加。	①ICTを活用した授業展開。	①ICTを活用した授業が積極的に行われ、生徒の授業への積極参加が見られたか。 ②1年生においては、一人一台端末の積極活用がされたか。									
			①専門学科指導の追求と課題研究の充実	①工業科の授業で「授業内容が身についた」という生徒の割合が各学科・各学期とも80%以上か。 ②課題研究の生徒満足度90%以上か。									
			①積極的な情報提供。 ②資格取得の指導。	①資格取得やコンテストなどに取り組む生徒が多くいたか。 ①アンケートにおいて、資格指導が充実しているとの回答が80%以上か。									
2	現状：生徒規範は守られている。大きな問題行動は見られない。進路指導も充実し、生徒の進路実現が達成されている。  課題：引き続き、社会人基礎力の育成を目指し、組織的な生徒指導、進路指導を通し、集団の一員としての自覚と責任を高め、進路実現につなげる必要がある	①社会人基礎力の育成を目指す生徒指導の推進。  ②生徒の進路実現へ向けた指導。	①生徒の「セルフマネジメント能力」を高める生徒指導の推進。	①基本的な生活習慣の確立、特に遅刻者数が減少したか ②手帳を使った自己管理ができたか。									
			②自転車安全講習会を実施、ヘルメットの着用を呼びかける。	①講習会を実施できたか。安全指導を適切に行えたか。									
			①大学コース、専門コースにおいて、特性を生かした指導を行う。 ②三年間を見通したキャリア教育の実施。	①コース選択の満足度が高い値を示したか。 ①適切なキャリアガイダンスが行われたか。 ②「進路指導が十分に行われている」という生徒の割合85%以上か。									
3	現状：新型コロナ感染者減少に伴い、徐々に地域連携が復活してきている。今年度、定員が割れた学科が多くある。  課題：本校の特色・魅力・成果を積極的に情報発信するとともに、PR活動や来校できる機会を増やす必要がある	①積極的に情報発信し説明会等を充実させ、志願者を増加させる  ②地域や小中学校関係者等との連携強化	①本校の特色・魅力・成果について積極的に情報を発信し生徒募集につなげる	①ホームページなど情報発信の機会を多く設ける。 ②生徒募集において、各科志願倍率1.0倍を確保する									
			②各種説明会や学校見学会、出前授業、体験入学等とおしたPR活動の実施	①地元小中学校との連携回数の増加 ②本校で行う各種広報行事における参加者数増加									
			①地域行事に積極的に参加し、本校へのニーズを知るとともに地域連携を強化する	①地元の企業や自治体等との連携回数の増加 ②本校に対するニーズをとらえ、適切な援助ができたか									